



インスピレーションに
なるう



Weekly Bulletin



2018~2019年度
RI会長
バリ・ラシン



RI 第2620地区
ガバナー
星野 善忠



2018~2019年度
静岡日本平RC会長
吉岡 章

静岡日本平ロータリークラブ週報 第2,261回例会 平成30.8.21

ガバナー公式訪問 静岡東RC、静岡南RC、日本平RC合同例会

ホストクラブ会長挨拶要旨



ホストクラブ
静岡東RC会長
杉田 至弘 様

皆さん!こんにちは!今日のガバナー訪問は静岡東クラブと静岡日本平、静岡南の3クラブが合同でお出迎えすることになりました。静岡東クラブが当番幹事ですので僭越ながら挨拶をさせていただきます。改めまして星野喜忠ガバナーそしてガバナー事務局の皆様の来訪を心より歓迎申し上げます。

これからガバナーがどんなお話しをされるかは楽しみにしてほしいと思いますが16人しか会員がいない大月ロータリー所属の星野喜忠ガバナーがどんな方か知っておきましょう。といいながら私が下手な紹介をするより、ガバナー幹事の小俣理美さんが「ロータリーの友」7月号に寄せた文章が素晴らしいので、ここで読ませて頂きます。

“星野さんは山梨県大月市生まれ。生家は「星野家住宅」として国の重要文化財に指定されています。本人は、周囲に「納豆屋のおやじ」と言っておりますがそれは世を忍ぶ言い方。確かに「富士納豆」という大粒納豆を製造しています。レトロなパッケージの納豆は皆さま一度ご賞味する価値があると思います。日ごろはレトロなエプロンをしてひげをたくわえ、流暢な英語を話しています。初めて星野家住宅を訪れたお客様は「この人は何者だろう?」と不思議に思うかもしれません。

お父様の仕事の関係から東京で育ち、大学時代に知り合った富子夫人とこちらも仕事でマレーシアに6年ほど在住。そのこともあって英語が堪能なのです。その後、東京の会社を退職、大月に夫人と2人で帰郷し現在に至っています。大月RCには2001年に入会。ご祖父さまがクラブの創立会員でした。大月に戻ってからは毎年星野家住宅を使用しての本陣コンサートや、所蔵の古いひな人形の展示、大月の大豆を原料とした大月納豆の製造など、地元の文化や野菜を使った地域おこしに一役買っています。

国際的な活躍の場から、地元に戻ってもロータリアンとして外に発信を続ける星野さん。ガバナー年度には14の目標を掲げ、地区内ロータリアンとともに「チーム星野」で邁進していくことと、確信しています。

お読みになった方も多いと思います。

星野家住宅と「富士納豆」の職場見学を実現してみたい気になりますね。私は食べ物にそれほど好き嫌いはないのですが、納豆は嫌い。あの「臭いとねばねば」は好きになりません。家内や息子たちが好んで食べるのを私は無視して他のものを食べています。今回、家族にそと「富士納豆」を取り寄せました。星野ガバナーらしく納豆嫌いでも食べられる色んなレシピが紹介されています。今日、朝食に挑戦して6回目です。中味はかりかりにトーストしたパンに納豆、醤油、たれ、からしを良く混ぜて塗り、紫蘇の葉を挟むサンドです。ねばねばはどうにもなりません。香りはまあまあです。これから納豆が好きになるかまでは分かりませんが嫌いな方、一度挑戦してみてください。

最後に少し静岡東のPRをさせて下さい。RI会長も星野ガバナーも年初の挨拶の中で「残念なことにロータリーがどんな団体で、どんな活動をしているのかを理解している人は多くありません。私たちのクラブ内でさえ、多くのロータリアンがロータリーについて十分に知らず、ロータリー会員であることの恩恵を享受していない」とおっしゃっています。私も常々その通りだと反省しております。会員増強、財団活動も多くの人に理解がなければ成果に繋がりません。静岡東はこの10月に創立60周年を迎えるのを期に会員のみならず一般の方々にも少しでも理解を求め、周年事業として明年1月9日~14日までの一週間(実質6日間)静岡駅前松坂屋静岡店で「静岡東創立60周年事業、金澤翔子書の世界“共に生きる(仮題)”併設静岡東RC60周年の歩み」を開催します。内容については鋭意検討中です。是非皆さまのご意見、ご理解を賜りたくご案内し挨拶とさせていただきます。

